

特別支援教育論		講義	非常勤講師 清水 秀俊
科目カテゴリー	教職科目	科目ナンバリング	25200206

1. 授業のねらい・概要

特別支援教育についての基本的事項を理解し、特別支援教育をめぐる諸問題に関心を深め課題意識を持つようにすることをねらいとする。

まず、特別支援教育の理念、歴史や制度、教育課程についての基本的事項を説明する。次に、特別支援教育の現状と課題について概説する。さらに、各障害の理解と指導・支援について具体例を示しながら説明する。終わりに、支援システムの構築（校内支援システムの構築および家庭や関係機関との連携）の必要性について述べる。

2. 授業の進め方

基本的には、印刷教材（レジュメ）を配布し、それをもとに講義形式で進めるが、特別支援教育に関連する新聞記事やテレビ番組、特別支援学校や障害者団体のホームページなどを随時紹介する。

また、毎回小レポートを提出させるなどして、受講生が抱いた感想や意見、質問などを表明する機会を設け、それらの感想等を次の授業で紹介する。

3. 授業計画

1. 特別支援教育の理念と基本的考え	9. 情緒障害および言語障害の理解と指導・支援
2. 特別支援教育の歴史と制度	10. 視覚障害の理解と指導・支援
3. 特別支援教育の教育課程①（学校教育法施行規則および学習指導要領による規定）	11. 聴覚障害の理解と指導・支援
4. 特別支援教育の教育課程②（各教科等および「自立活動」の指導）	12. 肢体不自由の理解と指導・支援
5. 特別支援教育の現状と課題	13. 病弱・身体虚弱および重度・重複障害の理解と指導・支援
6. 発達障害の理解と指導・支援①（学習障害および注意欠陥多動性障害）	14. 「チームとしての学校」と校内支援システム
7. 発達障害の理解と指導・支援②（自閉スペクトラム症）	15. 家庭や関係機関との連携
8. 知的障害の理解と指導・支援	

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

教科書や参考文献をはじめ本授業に関わる書籍および配布した印刷教材について、予習復習して疑問点などを明確にしておく（各1時間程度）。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

毎回の授業終了時に提出する小レポートに対してコメントを付して次の授業冒頭に返却したり、優れた感想・意見を紹介したりする。

また、期末試験実施の後、解答などを掲示板に掲示する。

6. 授業における学修の到達目標

1. 特別支援教育の理念と基本的考え、歴史や制度、教育課程などの基本的知識を修得する。
2. 各障害の定義や特性を理解し、障害のある児童生徒の実態に応じて多様な指導・支援の方法があることを理解する。
3. 特別支援教育を推進するためには校内支援システムの構築および家庭や関係機関との連携が不可欠であることを理解する。

7. 成績評価の方法・基準

試験の結果（50%）、小レポートの内容（30%）、授業への取り組み姿勢（20%）。

8. テキスト・参考文献

テキスト：

中学校学習指導要領（平成29年3月告示 文部科学省）

特別支援学校小学部・中学部学習指導要領（平成29年4月告示 文部科学省）

参考文献：

高等学校学習指導要領（平成30年3月告示 文部科学省）

特別支援学校高等部学習指導要領（平成31年2月告示 文部科学省）

9. 受講上の留意事項

テレビや新聞などで取り上げられる障害児者に関する報道に関心を持ってほしい。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当する。本授業は、特別支援学校および特別支援学級における実務経験を活かして指導する。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。